

2023.5.16

ギカイ の ひろば

◆CONTENTS

期待に応える予算か!

▶P8~P9

5年度予算

議員はここに注目した!

▶P10~P11



入口はこちら



特集

町おこしイベント

「OHAKO」

公有地活用検討会と
参加団体の皆さん

&

町議会

特集

町おこしイベント「OHAKO」 公有地活用検討会と 参加団体の皆さん



町議会

2月5日(日)に箱根ヶ崎駅西口の公有地を活用して、にぎわい創出の町おこしイベント「OHAKO」が開催され、1,500人以上の方がご来場されました。今回、「OHAKO」の企画や参加していただいた多くの方々を代表して、瑞穂農芸高校吹奏楽部、西多摩マウンテンバイク友の会、都市づくり公社、公有地活用検討会の皆さんにお話を伺いました。

*「OHAKO」は箱根ヶ崎の「箱」と十八番(おはこ)という意味を込めています。

みんなが一つになれば、もっとなぎさくが出来る
瑞穂町のことをもっと知りたくなりました

りませんか」と声を掛けられました。

「今参加したきっかけは？」

「にぎわいづくりを一緒にやらな〜と誘われました。」

「瑞穂農芸高校に参加が打診されました。コロナ禍で吹奏楽の演奏を発表する機会がなかったので、「ふっしゅ」と思って部員に声を掛けました。」

「先生がうれしそうな顔で参加しないかと誘ってきました。みんなの前で演奏できると思ったら、すぐに「うん」って返事しました。」

「参加していかがでしたか？」
「わくわく半分、不安半分でした。結果、1500人以上が参加して大盛況。「やったー!!」って感じです。」
「私たちの演奏を聴いてくれるかなあ」って不安もあったけど…ばっちりでした。
「子ども中心で考えたけど、親子で喜んでくれました。」
「瑞穂町のことをもっと知りたくなりました。」

「自転車で回廊ルートのツアーをして、参加者と一緒に盛り上がりました。昼ごろに会場に戻ってきたら食べ物コーナーが…売り切れてました(涙)。」

「次回はどんなイベントをしたいと思いますか？」

「今回、コロナ禍で食品関係の出店を少なくなりましたが、次回はキッチンカーも加えて、出店を増やしたいです。」
「ファッションショーも面白いかもしれません。」
「瑞穂町の魅力は、手の届くところに自然



瑞穂農芸高校吹奏楽部による演奏



グリーンスローモビリティ試乗会



初めてのイベント企画で不安と期待でいっぱいだったと笑顔で話す

宮崎 いづみ
(都市づくり公社主任)



まちを元気にするために駆け回るマウンテンバイクライダー

中沢 清さん
(西多摩マウンテンバイク友の会)



熱い思いを内に秘めながら町民のために仕事をする

中島 和輝さん
(検討会委員)



すぐに「うん」って返事したすてきな笑顔の

斎藤 美和さん
(瑞穂農芸高校生徒)



演奏ができると満面の笑みで部員に話した

吉田 眞希雄さん
(瑞穂農芸高校教諭)



「みんな聴いてくれるかなあ」の不安が吹き飛んだ

伊藤 悠里さん
(瑞穂農芸高校生徒)



や面白いものがあるところだと思っので、体験ツアーをやってみたいです。」

「町をもっと魅力的にするアイデアは？」

「駅前の人が集まれる場所が欲しいです。」
「町のあるあるを教えてください。マップがあるといいと思います。」
「瑞穂町はポテンシャルがすごく高いと町外から来る人が感じています。みんなが一つになれば、もっとすごいことができると思います。」
「駅前からエコパークまでテーマに沿った道で繋げたら面白そうですね。」
「誰でも安全に移動できる道。お話ししながら歩ける道。人に優しい道づくり。」

「町の皆さまへのメッセージをどうぞ」

「イベントがあれば呼んでください。ばっちり演奏します。」
「車から降りて、自転車やウォーキングで風を感じましょう。振り向くとすてきな光景が広がっている。それが瑞穂の魅力です。」
「通学中に、いろんな動物…瑞穂町ってあまり知られていないのがショックです。町の魅力をみんなでPRしましょう。」

「協力ありがとうございました。」

歳入

☑ 徴税環境の向上を目的に電子納付ができるようになったが、その取扱業者は。
 税務課長 PayPay、LINE Pay、d払い、J-Coin Pay、auPAYの5社である。

歳出

産業・観光

☑ みずほまる関連商品として、ぬいぐるみ作製委託料168万円とぬいぐるみ販売機として約8万円を計上しているが内容は。
 産業経済課長 8センチ程度の手のひらサイズのぬいぐるみとストラップ付のものを考えている。販売機は3台購入予定で、役場庁舎とけやき館に設置し、もう1台はイベントの時に使用する。

☑ スマート農業・環境負担軽減推進事業補助金として486万円を計上しているが内容は。
 産業経済課長 農業分野におけるロボット技術やICTなど先端技術を活用することにより、労働者の負担が軽減され若い人の参入も期待できる。環境負担軽減推進事業は、環境に優しい農業資材の購入を補助し、環境と調和の取れた農業への切り替えを推進する。

☑ ものづくり・DX等推進事業補助金として1,375万円を計上しているが成果目標は。
 産業経済課長 ものづくり・DX等推進事業補助金は企業が業績を上げることにより、瑞穂町の工業全体の向上を目標とする。

事 討 議 対 象 とな っ た 施 策 (P8・P9 参 照)

教育

☑ 小・中学生議会で中学生議員から危険性を指摘された外部階段の補修工事費が計上されていないが。
 学校教育課長 予算計上には間に合わなかったが、修繕料で対応していきたい。

☑ 地域学校協働 小・中学生議会の様子
 本部事業費で約350万円を計上しているが成果目標は。また、スタッフ不足解消の見込みは。
 教育指導課統括指導主事 1日の平日における学習時間が1時間未満の児童・生徒の割合を改善するのが目標。また、人手不足解消に向けては、学校が求める人材を明確にして、協働推進課や地域の方をお願いしていく。



小・中学生議会の様子

協働

☑ 箱根ヶ崎駅西公有地活用プロジェクトとして940万円を計上しているが内容は。
 協働推進課長 モノレール延伸と駅西の区画整理完了を見据えて駅西地区の公有地に、にぎわいの創出に向け、暫定的なコミュニティの拠点づくりを行う計画。都の補助金を活用し、町民や各種団体などと協働してイベント企画などを行いたい。

☑ 協働の窓口を設置する計画だが予算が計上されていない。どのように協働を推進していくのか。
 協働推進課長 協働推進課に「みずほマッチング」の名称の窓口を設置する。ボランティアセンターみずほ、生涯学習団体などが連携することで相乗効果を生むことを期待している。



まちづくり

☑ 沿線まちづくり検討業務委託として479万円を計上しているが内容は。
 都市計画課長 モノレール延伸に伴う2つの新駅周辺の基本構想を令和5年度中に策定する。

☑ 立地適正化計画策定委託料として1,023万円を計上しているが内容は。
 都市計画課長 2030年代のモノレール開業を見据え、居住機能の他に医療・福祉・商業、公共交通とのさまざまな都市機能の誘導を図るための具体的な計画を2カ年にわたって策定する。コンパクトなまちづくりと公共交通の充実の具現化を目指していく。

くらし・安全

☑ 消防団員準中型免許取得補助金として新たに113万円を計上しているが理由は。
 安全・安心課長 車両総重量が約4.9トンある消防ポンプ自動車を普通免許で運転することができなくなったため、補助金を創設し、平成29年3月12日以降に普通免許を取得した団員の準中型免許の取得を目指す。1人22万6,000円で5名分を計上した。

☑ 石畑防災広場の拡張などに総額約6,300万円を計上しているが内容は。
 協働推進部参事 現在の約2,200㎡を今回約1,300㎡拡張し、備蓄倉庫を建てる予定。

☑ デジタル推進課内に住民向け相談窓口を設ける計画だが内容は。
 デジタル推進課長 週2回の予約制。キャッシュレス決済の方法や、別居家族との通信など、デジタル活用に関して住民からの相談を受け付ける。

☑ コミュニティバス運行に総額約1億2,700万円を計上しているが5年度の取り組みは。
 都市計画課長 4月1日からバス停やダイヤを変更する。実証実験も約1年延長する。

福祉・健康

☑ 高齢者福祉センター「寿楽」改修工事関連の委託料として約3,000万円を計上しているが改修内容は。
 高齢者福祉課長 1階部分に第五小学校の児童保育施設を移設し、多世代交流の場とする。2階部分は、現在と同様の高齢者福祉センターの機能を設けて、さまざまな高齢者が活躍できる場の創出を考えている。付帯設備は検討中である。

☑ 高齢者居場所づくり事業での長期総合計画の目標は、令和7年度までに50か所となっている。5年度の達成見込みは。
 高齢者福祉課長 通いの場合は、現在18か所。5年度は34か所を目標にする。

☑ 義務教育就学児医療費助成と高校生等医療費助成の自己負担200円の撤廃にかかる費用は。
 子育て応援課長 年間、義務教育就学児医療費助成は約205万円、高校生等医療費助成については約68万円を見込んでいる。義務教育就学児医療費助成は、令和5年10月に自己負担を撤廃する予定である。

☑ ヒトパピローマウイルス感染症任意予防接種費給付金として約71万円を計上しているが内容は。
 健康課長 ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、公費負担での接種の機会を逃した女性に対して、個人負担で実施した費用を助成する。対象は16人を見込んでいる。



出初式の様子

期待に応える予算か！ 議会の判断は！



討議の様子

予算特別委員会4日目は、討議事項を抽出し全委員で討議を行いました。今回も、事業内容の評価から「長期総合計画の目標実現に有効な事業予算が組まれているか。執行計画は効率的か」という視点に立って、総務産業建設委員会、厚生文教委員会の所管する内容について分科会形式で討議を行いました。分科会での討議終了後、各分科会から討議結果の報告があり、全体でのコンセンサスを図りました。

分科会（厚生文教委員会所管分野）

基本目標1

「誰もが健康ですこやかに暮らせるまち」

森 委員(座長)、小川 委員、近藤 委員、小山 委員、村山 委員、山崎 委員、香取 委員

施策分野6 高齢者福祉

施策1 高齢者の生きがいづくり

高齢者の居場所づくり事業
補助金
40万8,000円

分科会での主な意見

この事業は週に1度体操を入れなければならないなど、義務を課している。気楽に立ち寄りといったコンセプトではない。



ボール体操中の様子
(長岡南会館)

高齢者にとっての居場所とはどういうものか「居場所の定義」が不明確では。

高齢者の多くは義務的な拘束を負担に感じているのでは。

高齢者のリーダー育成か、事務を担ってくれる人材が必要では。

予算上は問題ないが、見直しは必要だ。

結果→議会で委員長に討議内容を報告するよう求める。

基本目標2

「子どもたちがのびのびと育つまち」

施策分野1 子育てしやすい環境

施策1 切れ目のない妊産婦・子ども・家庭への支援

出産・子育て
応援事業

総額2,349万8,000円

分科会での主な意見

町の子育て応援事業は大変充実している。

高校生の医療費の所得制限を撤廃したのは評価できる。

子育ては充実しているが「子育て」には課題があり、局面や段階に合わせて対処する必要がある。



子育て…子どもが自ら吸収して成長しようとするように、保護者や大人が手助けすること。

就学前までは充実しているが、小・中学校に上がると不登校や学力問題が発生する。ここに課題がある。

教育委員会と子育て応援課が子育てについて連携を深めるべきでは。

結果→議会で委員長に討議内容を報告するよう求める。

分科会（総務産業建設委員会所管分野）

長期総合計画の基本目標6

「便利で快適に暮らせるまち」

石川 委員(座長)、下澤 委員、大坪 委員、下野 委員、榎本 委員、村上 委員、原 委員

施策分野1

計画的なまちづくりの推進

施策2

計画的な土地利用の推進

立地適正化計画
作成委託料
1,023万円

分科会での主な意見

モノレールの延伸を見据えて、周辺地域の土地利用を進める上で、立地適正化計画を策定する予算を計上したのは評価できる。

この計画は町の機能をコンパクト化する話だと理解しているが、現時点ですでにコンパクト化している町だと思う。計画を策定する必要があるのか疑問だ。

人口減少に対応していくための都市づくり計画で必要な事業である。

土地利用の規制を外す機会と捉えたい。

マスタープランでは、令和12年が3万3,000人、令和22年が3万4,000人となっているが、人口は減少傾向にある。この計画がどういう人口フレームで策定されるのか注視する必要がある。

2年間で作成する計画なので、作成過程を注視していく必要がある。

結果→議会で委員長に討議内容を報告するよう求める。



期待度 **75%**

コミュニティバス

コミュニティバスの実証実験運行に期待している。地域の公共交通としてどのように維持継続していくかが重要である。

近藤 浩 議員



期待度 **90%**

シティプロモーション

シティプロモーションに期待。みずほまるのぬいぐるみ製作販売で、町内外の多くの人に愛着をもってもらいたい。

香取 幸子 議員



期待度 **85%**

学校・地域・家庭の連携

将来の町の礎となる子どもたちの「学ぶ力」、「人や社会へ貢献する意識」を地域全体で育む体制づくりに期待。

森 亘 議員



古宮 郁夫 議長

1年間の町事業を左右する予算。調査と委員会での質疑を踏まえた各議員の全予算への期待度と注目する事業をご紹介します。

期待度 **85%**

駅西公有地活用プロジェクト

箱根ヶ崎駅西公有地活用プロジェクト業務委託。駅西活性化の声が反映されることを期待する。



原 隆夫 議員

令和5年度予算 全会一致で可決 議員はここに注目した！

期待度 **90%**

ものづくり・DX等推進事業

ものづくり・DX等推進事業による各種産業の効率化、生産性向上、経営力向上など、町の伴走型支援などの施策に期待。



村上 嘉男 議員

期待度 **90%**

英語学習体験事業

子どもの発達段階に応じた学びの充実や事業を精査し、英語の体験学習を取り入れた取り組みは評価できる。



下野 義子 議員

期待度 **70%**

高齢者福祉

高齢者に対するの生きがいづくり、通いの場の体制整備、グループに入れられない方々をどう成果に結び付けるかが重要。



小山 典男 議員

期待度 **75%**

高校生等医療費助成

子ども医療費の自己負担200円は約273万円で高校生まで無償化可能。現在の財政力で、十分可能であり早急な実現に期待。

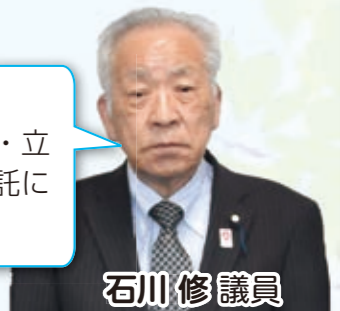


大坪 国広 議員

期待度 **90%**

沿線まちづくり

沿線まちづくり検討業務・立地適正化計画策定業務委託に期待する。



石川 修 議員

期待度 **90%**

高齢者福祉センター改修事業

多世代交流や健康づくりに活用できるためのリニューアル改修に期待。町内全域の人が利用できるようにすることが鍵。



小川 龍美 議員

期待度 **85%**

立地適正化計画

立地適正化計画の策定で、町の現状分析、まちづくりの課題整理、将来都市構造およびまちづくりの目標に期待したい。



下澤 章夫 議員

期待度 **80%**

予算編成

中央体育館の空調設備設計委託など評価のできる点が多いが、コミュニティバスの実証実験1年延長など懸念要素も残る。



榎本 義輝 議員

期待度 **80%**

予算編成

期待は、コロナ5類後、前年度より増額予算編成となったこと。コミュニティバスの検証結果が懸念される。



村山 正利 議員

期待度 **90%**

沿線のまちづくり

モノレール延伸を見据え、沿線のまちづくり、駅周辺の整備、地域公共交通や人口減少に対応した総合的な取り組みに期待。



山崎 栄 議員

住民の声にどうこたえる!

4陳情第16号 陳情書

議会運営委員会

【陳情者】 立憲共和党代表 角田 統領

【陳情の趣旨】 「瑞穂町議会会議規則」に「委員長の討論」の条項を加える改正を求める。全国市議会議長会が作成した「標準市議会会議規則」に「委員長の発言」の条項があるが、瑞穂町議会が制定した「瑞穂町議会会議規則」に「委員長の発言」の条項がなく瑕疵が認められるため改正が必要。

担当部署への主な質疑

- Q 「標準町村議会会議規則」に「委員長の発言」という項目があるのか。
- A 全国町村議会議長会が示している「標準町村議会会議規則」の中には、「委員長の発言」という項目はない。
- Q 他の自治体で、会議規則の中に「委員長の発言」の条項を設けているところはあるのか。
- A 全国では5つの町村が、類似した内容の規則を採用している。
- Q 会議規則に「委員長の発言」の条項がないことで支障をきたすことはないか。
- A 地方自治法なども準用、または参照する形で会議などを進めているので、今後も問題はないかと考える。
- Q 町村議長会の見解は。
- A 町村議長会の見解では、この項目の追加は考えていないことを確認している。

議員間討議での主な意見

委員長は、本来意見を取りまとめる立場にあり、委員長が意見を申し述べる機会を作るべきかどうかについては是非論があると思うが瑕疵とは言えない。しかし、現在、議会改革を進めているので、さらに調査をしていく必要があると考える。

委員会での審査結果は**継続審査**となり、その後、本会議で**継続審査**が議決されました。

その他の陳情

番号	件名	付託先	結果
4陳情第3号	瑞穂町議会会議規則に「議長が紹介議員を任命する」を加える改正をもとめる件	議会運営委員会	継続審査
4陳情第6号	条例制定義務の課題を明らかにすることを求める件	議会運営委員会	継続審査
4陳情第8号	陳情書	議会運営委員会	継続審査
4陳情第13号	建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基金拠出等、「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める、国への意見書を求める陳情書	厚生文教委員会	趣旨採択
4陳情第15号	都立高校入試に中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)結果の利用中止を求める陳情	厚生文教委員会	不採択
5陳情第5号	瑞穂町介護保険条例に「介護給付義務」を明記する改正を求める陳情	厚生文教委員会	不採択
5陳情第6号	指定管理者を行政庁とする指定管理者設置条例の制定を求める陳情	総務産業建設委員会	不採択

※全ての陳情の詳細はHPでご覧になれます。



審査の結果は?



陳情

5陳情第2号 弁護士費用3億5000万円の発生を回避する措置を求める陳情 総務産業建設委員会

【陳情者】 立憲共和党代表 角田 統領

【陳情の趣旨】 平成25年に神奈川県を当事者とする訴訟物の額約20億円の訴訟事件が発生し、神奈川県は弁護士費用3億5,000万円を支出した。弁護士法第3条及び地方自治法第153条「顧問弁護士に別途委任する」を、職員である「顧問弁護士」を「指定代理人」に任命すると論理解釈し、違法な解釈の是正措置が必用である。

担当部署への主な質疑

- Q 顧問弁護士経費として法律事務に関する契約を締結しているが、訴訟となった場合の対応は。
- A 別途、委任契約を結んで対応している。
- Q 契約を顧問弁護士に限定するような規定が存在するか。
- A そのような規定はない。訴訟の内容や事案の性質によっては、顧問弁護士以外の弁護士と契約を結ぶこともある。

議員間討議での主な意見

青梅市の例でいうと、非常勤特別職の報酬180万円で多種多様な訴訟案件全てに対応できる弁護士が存在するのかが疑問。
法律事務と訴訟対応を別個で捉えている町の体制は妥当である。

委員会での審査結果は**不採択**となり、その後、本会議で**不採択**が議決されました。

5陳情第4号 学校給食の無償化を求める陳情

厚生文教委員会

【陳情者】 瑞穂町に学校給食無償化を進める会 代表 青木 道子

【陳情の趣旨】 学校給食は教育の一環であり、家庭の事情による栄養格差改善の上でも重要である。給食費は毎年小学校高学年が46,310円、中学校が52,250円と義務教育費用で最も高額な保護者負担となっている。都内で無償化に踏み出している自治体もあり瑞穂町でも無償化を進めてほしい。

担当部署への主な質疑

- Q 前年度の公費負担額はいくらか。
- A 小・中学校併せて1,470万円を要保護・準要保護世帯に支給した。
- Q 無償化した場合の町の負担は。
- A 無償化した場合の公費負担額は、約1億円を見込んでいる。
- Q 無償化の声は届いているか。
- A 学校給食は羽村市と共同で提供しているが、羽村・瑞穂地区学校給食組合および町への無償化の意見は届いていない。

議員間討議での主な意見

都内では無償化が始まっている区がある。また、中学生、第2子以降の無償化を実施あるいは検討している自治体もある。
物価高騰が続いている。無償化にすべきである。
持続可能なまちづくりを求める以上、財政のことも考えなくてはならない。
一部事務組合で運営している以上、町単独での無償化の実現は難しい。今後、羽村市の動向やさまざまな課題を解決した上で検討すべきだと思う。



給食中の様子(五小)

委員会での審査結果は**継続審査**となり、その後、本会議で**継続審査**が議決されました。



下野 義子 議員 (公明党)

国道16号沿線に「みずほ」を冠する町の産業を発信できる拠点づくりを



町長 持続可能な施設となり得るかを
見極めることが重要



国道16号沿線

質問 町には「みずほ」の名を冠し、常駐的にブランド品や生産物を販売できる拠点が無い。国道16号沿線に町の生産物などを販売でき、24時間利用できる広い駐車場、きれいなトイレ、自動販売機

のある地の利を生かした施設の整備を提案する。広域行政圏や近隣自治体のアンテナショップなども呼び掛け、西多摩地域の情報発信の拠点としても検討してはどうか。施設整備や運営の財源についても、住民や民間の力を生かせる手法を考へては。町長 議員提案の拠点づくりは現実的には難しい。四季を通じて町の生産物を販売できるか。地元の生産物の安

町長 都は、令和5年度予算案に带状疱疹ワクチン任意接種補助事業経費を計上した。

町長 都は、令和5年度予算案に带状疱疹ワクチン任意接種補助事業経費を計上した。



こんな質問もありました
3歳児健診の視力検査の方法と精度を問う
町長 屈折検査機器を新たに導入し、弱視原因の早期発見に努めている。

小川 龍美 議員 (公明党)
带状疱疹ワクチン
接種費用の助成を
町長 適切な時期に助成事業を構築したい



質問 带状疱疹は成人の9割が原因となるウイルスを保有しており、80歳までに3人に1人が罹患するとされている。東京都は1月27日、2023年度予算案を発表し、带状疱疹ワクチンの接種費を助成する区市町村への補助事業を23年度から実施すると明らかにした。自己負担軽減を目的として、50歳以上を対象に接種費を助成する区市町村に2分の1を補助するとしている。この機会に、町も接種費用の助成を行うべきと考えられる。町長 都は、令和5年度予算案に带状疱疹ワクチン任意接種補助事業経費を計上した。

質問 学童保育クラブは平成27年から対象が小学6年生までとなっているが、小学5年生の保護者から「申請したが入れず、仕事の働き方を変えざるを得なくなった。何とか改善してほしい」との声があった。子どもが放課後に過ごす安全な居場所である学童保育クラブは、働く保護者にとっても大切な施設である。待機児童を解消するなどし、子育て支援のさらなる充実をすべしと考えるが、町長の所見を伺う。



子ども学習番組を視聴している児童 (二小学童)

原 隆夫 議員 (公明党)
学童保育クラブの待機児童
解消など子育て支援の充実を
町長 町の実情をモニタリングして
研究していく



また、入所申請時には、あらかじめサマー学童の利用を案内し、通常保育とサマー学童の融通性を高めるなど配慮している。少子社会の進行、塾や習い事とい



榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

大型商業施設の
請負解除について



町長 就業開拓できる側面支援をしたい



シルバー人材センター

質問 町内にある大型商業施設では方針転換を理由にシルバー人材センターとの請負契約を解除する方針を固めた。令和5年2月末日に約40人の削減、同年5月には約10人が削減され、実質ゼロとなる。

働くことを通じて高齢者の生きがいと健康づくりを進め、活力ある地域社会づくりに貢献していくためにはこの問題の解決が必至であると思うが、町長の所見を伺う。

町長 契約解除の理由は全店舗統一の社内方針によるものであるとの説明があった。シルバー人材センターは継続を申し出たが、会社全体の方針なので難しいとの回答があり、やむなく了承したと聞いています。町長 研究したい。

ナッジ…本人が無意識に、よい選択をするように誘導すること。

瑞穂町奨学金支給制度の見直しを



教育長 見直しは考えていない



質問 町の奨学金支給制度は、平成19年に経済的な理由により高等学校等に入学することが困難な生徒に対し、必要な資金の一部を支給する目的で設けられた。しかし、15年が経過し、その間、消費税率改定など社会経済情勢が変化の中で見直しが必要な時期となっていると考える。そこで、次の2点について、教育長の所見を伺う。

問① 審査基準と申請・受給者数の状況は、**教育長** 審査基準は経済的理由など4つの要件がある。令和2年度29人174万円、令和3年度33人198万円を支給した。

問② 現在の経済状況



瑞穂中学校で行われた卒業式

町長 地域活性化には有効であると理解しているが、使える財源が限られており、現時点での再開は考えていない。

こんな質問もありました 住宅改修補助制度の再開を

町長 地域活性化には有効であると理解しているが、使える財源が限られており、現時点での再開は考えていない。

質問 現在、町の総人口に対して65歳以上が約30%、15歳から64歳までの生産年齢人口は約60%で、計算上2人で1人が高齢者を支えている。一方で、出生数は減少傾向にあり、145人と20年前の半

分以下である。少子高齢化が一層顕著になっていく状況だが、町民の安全安心な生活の確保と次世代への負担軽減を同時並行で進めなくてはならない。そこで、持続可能なまちづくりをどのように進めていくか町長に所見を伺う。

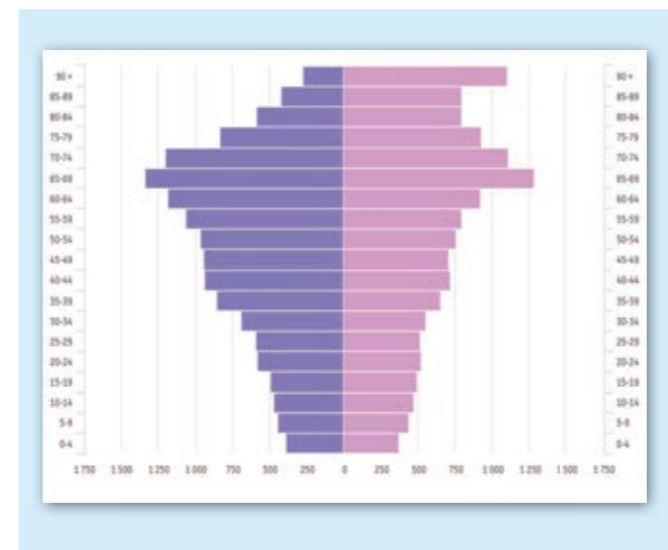
町長 現在、各種産業のDXを進めようとしているのは、労働人口を確保し、現在の産業を支えるとともに、将来の新たな産業を創出することを組み合わせることで、地域で経済や人が循環するサステイナブルな町に近づけるためである。将来のまちづくりには大きな財政投資が伴うが、財源の確保にも力点を置きながら、民間活力の活用も組み合わせ、着実に進めていく。この結果が少子高齢化社会への最終的な対応として有効に作用するものと考えている。



森 巨 議員 (自民誠和会)

少子高齢化社会に対応できる 持続可能なまちづくりを

町長 財源の確保と民間活力の組み合わせを有効に作用させる



2040年瑞穂町の人口ピラミッド

古宮 郁夫 議員 (自民誠和会)

まちづくりの計画と手法 について



町長 将来都市像を町民の方々に
丁寧を示す

5年度に着手する。目指すべき都市の骨格構造や、広域連携施策、土地利用誘導方針を整理し、農業・商業・工業のデジタル化、さらにはDXを活用したイノベーションの創出を促進する取り組みなどを、スピード感をもって推し進める。必要な原資を確保するため、関連補助や民間活力を活用した手法も含めた財源計画を目指す将来都市像を町民の方々に丁寧を示す。

バックキャスト…未来から逆算して目標や計画を立てる戦略的思考。

香取 幸子 議員 (自民誠和会)

瑞穂町における子ども・子育て支援 策の現状と今後の取り組みについて



町長 医療費の一部負担金の撤廃も
検討したい



新築された狭山保育園

質問 急速に進行する少子化に対して、国は子育て支援を最重要政策に位置付け、「次元の異なる少子化対策」を検討している。また東京都は18歳以下全員への月5000円給付など、新規施策の予定

を公表している。国や東京都の動向を踏まえ、町は今後、どのように子ども・子育て支援施策を推進していくのか、次の3点について、町長の所見を伺う。

問① 現施策の実施状況を。町長 認可保育所の増設、認可外保育所の増設、病児・病後児保育利用料補助、ひとり親家庭への学校給食費補助、赤ちゃん応援臨時給付金の支給、保育所等および在宅養育児童保護者への負担を軽減する施策を継続するとともに、新たな課題への対策を研究する。

問② 今後の取り組み。町長 組織改編に向けて検討を開始している。従前の施策を継続するとともに、新たな課題への対策を研究する。

問③ 高校生等を含めた子どもの医療費助成。町長 令和5年4月から高校生等の医療費助成事業を開始する予定。所得制限を撤廃し、200円の一部負担金の撤廃も検討したい。

町長 モノレール沿線まちづくりのさらなる具体化を示す立地適正化計画の策定に、令和



長期総合計画と都市計画マスタープラン

視察報告

総務産業建設委員会

令和5年1月11日 茨城県常総市

日本で初めてトライアル・サウンディング制度を導入 常総市PPP（公民連携）事業の推進について

常総市では、超少子高齢化、住民の要望の多様化、複雑化に行政だけで対応するのは困難な状況にあると判断し、これらの問題を解決するために民間活力の導入に挑戦した。市ではトライアル・サウンディングを日本で初めて導入し、また、個々で行っていた施設管理や業務を複数同時に委託する包括施設管理業務委託などを実施していた。これらにより、施設管理の効率化と維持費の削減につながった。これらの手法は、総合管理計画を進めているわが町でも大いに参考にすべきと考える。



トライアル・サウンディングを経てリニューアルオープンした宿泊研修施設「水海道あすなるの里」園内マップ



あすなるダイニング&里カフェ

トライアル・サウンディング…公共施設などの運営を希望する民間事業者を募集し、本格利用の前に一定期間、暫定的に使用してもらう制度。

視察報告

交通対策特別委員会

令和5年1月26日～27日 栃木県那須町

詳細なデータを基に「地域公共交通計画」を策定して 栃木県那須町の公共交通の取り組みを視察研修

那須町では、公共交通体系の構築に向け、現状分析、まちづくりとの整合性、アンケート調査など詳細に検証し「地域公共交通計画」を策定した。さらに、利用促進を図るために、公共交通路線のほか、民間バス路線も含めた運行時間や通院利用プランなどを掲載したバスブックを全戸配布していた。わが町でも民間交通も含めた総合的交通網の構築が重要であることから、データを検証し、那須町独自の交通計画策定に早期に着手するとともに、利用促進に向けた施策の検討を進めるべきである。また、現在、わが町ではコミュニティバスの実証実験中であるが、他の交通手段についても模索し、早期導入を目指す必要があると考える。



視察報告

基地対策特別委員会

令和5年1月19日～20日

交付金を活用し低周波音の測定を実施 千葉県 木更津市



木更津ガイドマップ (木更津市HPより)

木更津市では、陸上自衛隊木更津駐屯地への陸自V-22オスプレイの暫定配備に対し、独自で低周波音に関する測定を行っていた。米軍および自衛隊のオスプレイの定期機体整備では関係機関で運用、経路、飛行空域について覚書を交わし状況報告を受けていた。



騒音に対する補助事業を実施

茨城県 小美玉市

百里基地は民間空港と共有されているが市街地から離れているため、住民からは歓迎されており、自衛隊員交流も盛んに行われていた。しかし直下の住民に対しては、騒音障害対策としてテレビ受信料、電話利用料の補助を行っていた。



小美玉市観光マップ (小美玉市HPより)

【視察を通じての委員会の見解】

飛行直下の騒音対策だけでなく、市独自で低周波音の測定を行っていた点は参考になった。米軍横田基地にはオスプレイが配備されており、わが町も低周波音騒音の測定について検討に値すると思う。



走れ！君の夢に向かって！

瑞穂町にお住まいの島崎茉央さんは、トライアスロン女子18-19歳の部で国内ランキング第1位となった選手です。「小学3年生の時にトライアスロンと出会ってから今日まで、楽しんで競技を続けてきました。今の夢は大学卒業まで選手として、その後は趣味として続けること。それから1度はアイアンマンレースにでること」と笑顔で話す茉央さん。もしかすると町内で楽しみながら黙々と走る茉央さんとお会いできるかもしれません。

今日も明日も夢に向かって頑張る茉央さんが、楽しい競技人生を送れるように、瑞穂町の皆さん、心を一つに声援を送りましょう。「走れ！君の夢に向かって！」



アイアンマンレース…スイム3.8km、バイク180km、ラン42.195kmで、トライアスロンより距離の長い過酷なレース。

次回 5月臨時会・6月定例会 (予定) 5月15日・6月12日～26日

日	月	火	水	木	金	土
14 5月	15 臨時会	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25 請願、陳情の 受付締め切り日	26	27
28	29	30	31 議会運営委員会	1 6月	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問・議案審議)	14 本会議 (一般質問・議案審議)	15	16 総務産業建設委員会	17
18	19 厚生文教委員会	20	21	22 議会運営委員会	23	24
25	26 本会議 (議案審議)	27	28	29	30	1 7月

■本会議、委員会の開始時刻は、午前9時30分からです。なお、上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴に来られる際は、お電話または、ホームページで日程をご確認のうえご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記



編集委員会も2年が経過し、現メンバーによる最後の編集作業となりました。これまで、「ギカイのひろば」も編集委員会としても共に成長を求めて、テーマ設定や新企画など、新たな取り組みに挑戦してきました。この間、読者からの賛辞もお叱りも届けられ、それら一つ一つが成長の糧となりました。貴重なご意見をいただき編集委員一同、心より感謝申し上げます。誌面を通しての読者とのご縁に改めて感謝申し上げ最後のごあいさついたします。2年間ありがとうございました。

文：森 巨

編集委員
山崎 栄 森 巨
大坪 国広 小川 龍美
村上 嘉男 香取 幸子

